

# 宮前だより

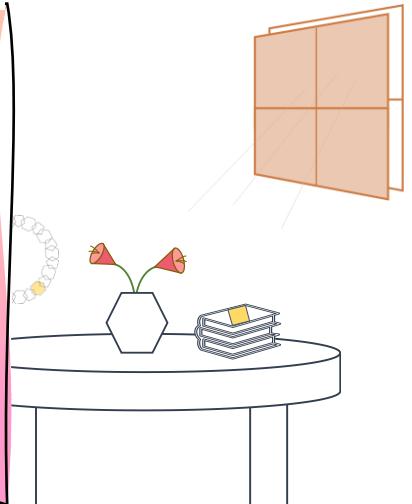
発行：宮前図書館  
〒168-0081 杉並区宮前5-5-27  
TEL: 03-3333-5166  
X (旧Twitter)  
@MiyamaeLibrary



一般  
『変』な本

YA  
飯テロ 読書

古典  
いにしえ あしあと  
古の痕跡を追ひて



○ - 児童イベント

● - 一般・YAイベント

■ - 17時閉館

日	月	火	水	木	金	土
1 ●先崎学九段と将棋を指そう	2	3	4 ●おはなし会 ●TEENSルーム	5 休館日	6	7 ●わらべうた
8	9	10	11 ●おはなし会	12	13	14
15	16	17	18 ●おはなし会 ●TEENSルーム イベント	19 休館日	20	21 ●あかちゃん おはなし会 ●夕顔の心は どこにあるか
22	23	24	25 ●おはなし会 ●TEENSルーム	26	27	28 ●スポット おはなし会

発行：宮前図書館  
〒168-0081 杉並区宮前5-5-27  
TEL: 03-3333-5166  
X (旧Twitter)  
@MiyamaeLibrary



## 先崎学九段と将棋を指そう！

講師：先崎学先生

対象：どなたでも（将棋のルールを知っている方） 定員：10名（申込み順）

日時：2月1日（日）午後2時～3時30分

場所：宮前図書館 3階講座室

先崎先生から将棋にまつわる話を15分ほどお聞きし、その後、多面指して1局対局していただきます。

予約の受付：1月13（火）  
9時～、電話（Tel03-3333-5166）または図書館カウンターにて



夕顔の心はどこにあるか  
語りの視点に注意すると

講師：今井久代先生

対象：中学生以上の方

定員：20名（申込み順）

日時：2月21日（土）午後2時～3時30分

場所：宮前図書館 3階講座室

夕顔という女性とイメージされてきました。近年では、それは単に源氏の目に映る姿と読まれるようになってきました。

夕顔は何を思っていたのか。いくつかのヒントから考えていきたいと思います。

予約の受付：2月2日（月）9時～、  
電話（Tel03-3333-5166）または図書館カウンターにて



## 『漱石の地図帳 歩く・見る・読む』

中島国彦/著  
大修館書店  
910.268/+

本郷・小石川、千駄木、早稲田南町…東京の地理に深く結びついた夏目漱石の文学作品。漱石ゆかりの場所、作品に描かれた場所を訪ね、「坂」と「台地」という視点から漱石の作品を読み直す。

\* 本の内容紹介はTRC MARCより

今月  
の  
テーマ

古の痕跡を追ひて  
いにしえ あしあと

名作のゆかりの地を辿る。

## 古典特集

# みんなの広場

霜降りで今日のすき焼特上で  
米熊早苗働き尽して年も暮れ  
カードゲーム支持率驕るハルマゲドン

福笑正しく出来て詰まらなく  
境内にサーフボードや初詣  
初富士や走者は汗を光らせて

はつのひで あたらしいあさ きもちいな  
あたらしいとし 楽しさあるかな

終正月 近づきけるは  
かいとーはMEへ バレンタイン

誕生日 プレゼントで欲しいの  
誕プレ2年連続ナシの人 合格のみ

くろいあなかけうちはなつ  
緑の木が飾られているように  
僕も自身を飾りたいな  
いつもじやなくていいから  
一日でも  
私はこのようになる

違岡大人規

しんしんしんクロちゃん

身にしみる  
毎年早まる  
クリスマス

サンタプローズ

新年へ  
カウンタダウンの  
大晦日

おおういおやっさん

たのしいな 宮前図書館

坂上 忍

鈴虫炒飯



又吉直樹/著 幻冬舎 917円  
田中象雨

# 一般特集

今月のテーマ

## 『変』な本

読んでみるまで分からぬ  
奇想天外なタイトルや表紙の本を特集。

展示期間：2月6日～3月4日

### 『ファット・キャット・アート デブ猫、名画を語る』

スヴェトラーナ・ペトロヴァ&ツアラトウストラ/著  
エクスナレッジ 720円



巨大なデブ猫が、アートの世界を案内します。ミケランジェロ「アダムの創造」、フェルメール「牛乳を注ぐ女」、クリムト「接吻」…。  
古今東西の絵画に、茶トラの猫“ツアラトウストラ”的画像を貼りつけた楽しい作品集。

### 『言語学バーリ・トゥード』

Round 1 AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか

川添愛/著 東京大学出版会 801円

ラッシャー木村の「こんばんは」になぜファンはズッコケたのか。AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか。日常にある言語学の話題を、ユーモアあふれる巧みな文章で綴る。

『UP』連載に書き下ろしを加え書籍化。

### 『鈴虫炒飯』

又吉直樹/著 幻冬舎 917円

現世を標榜する新たな四字熟語があつて然るべき。「神様嘔吐」「馬面猫舌」「夕焼左折」など、芸人・又吉直樹が編み出した奇想天外の“新・四字熟語”を、新進気鋭の書道家・田中象雨が描く。解説、用例、対義語なども掲載。